



JAPAN MONKEY CENTRE

送信先 報道各位
送信枚数 本紙を含めて 4枚
送信日 2018年 12月 17日

日本モンキーセンターの年末年始のイベントのご案内

2018年も残すところあと僅かとなりました。皆さまには大変お世話になりました。来年度も引き続きどうぞよろしくお願い申し上げます。当園は、年末年始は休まず営業いたします。特別なイベントを企画しておりますので、ぜひ紹介してください。

・年末限定イベント

① クリスマスガイドリレー

飼育員が工夫を凝らしたプレゼントを動物たちに配りながら、クリスマスを連想するようなワードを絡めてリレー形式でガイドをします。

② もういくつ寝るとお正月！チンパンジーのベッドをつくろう！

年始に良い夢が見られるように、チンパンジーたちのためにベッドをつくる体験イベントです。

・年始限定イベント

③ 縁起物「奇跡のみかん」

今年もゴリラのフンから芽を出した『奇跡のみかん』が実りました。

ゴリラのウンチに混じっていたみかん（甘夏 のなかま）の種が奇跡的に生き残り、大樹となり、実を結んだ「奇跡のみかん」をプレゼントします。

※年末(12/27)に奇跡のみかんの摘み取り式を行います

④ サルおせち

お正月といえば「おせち」！動物たちに飼育員お手製の「サルおせち」をプレゼントします。

⑤ 成人の日スポットガイド

成人の日になみ、今年20歳になる動物をお祝いします。

1/14（月・祝） 開園時間中に園内各所でおこないます。

また、12月22日（冬至）より、冬の風物詩「たき火にあたるサル」を開催します。

12/19に取材日を設けておりますので、そちらも併せてよろしくお願い申し上げます。

（たき火 11:30～14:00、ほかほかお伊モタイム 14:00～）

本件に関するお問い合わせ先

〒484-0081 愛知県犬山市犬山官林 26
公益財団法人日本モンキーセンター
TEL : 0568-61-2327 FAX : 0568-62-6823 メール : info@j-monkey.jp
担当 : 附属動物園部 荒木、辻内 学術部 江藤、赤見 事務部 安倍

資料① 年末限定イベント

・クリスマスガイドリレー

クリスマスに関連するワードと動物の魅力を結びつけ、いつもとは違った角度からのガイドをおこないます。

飼育員たちが工夫を凝らしたプレゼントを動物たちにプレゼントしながら、リレー形式でバトンを繋いでいきます。

日程： 12月23日（日）、24日（月・祝）

時間： 11：00～11：40

場所：23日 南米館→アジア館→Waoランド→アフリカセンター

24日 ギボンハウス→KIDSZOO→リスザルの島→ヒヒの城

・もういくつ寝るとお正月！チンパンジーのベッドをつくろう！

野生のチンパンジーは、毎日高い木の上で枝を折り込んでベッドをつくって寝ます。

モンキーセンターのチンパンジーたちが年始に良い夢を見られるように、また、今年一年の感謝を込めて、彼らが快適に眠れるベッドをつくります。

当日は来園者の方々と一緒に消防ホースを編んで、ゆらゆら揺れるベッドをつくり、プレゼントします。

日程： 12月30日（日）

時間： 13：00～13：45

参加費： 500円



野生のチンパンジーのベッド



消防ホースでつくったベッド

資料② 奇跡のみかん

②-1「奇跡のみかん」の摘み取り式

日程：2018年12月27日（木） ※雨天決行

時間：13:30～ 場所：アフリカセンター

正月にプレゼントするためのみかんを職員たちで摘み取ります。

※摘み取りは、ゴリラを室内に移動させて実施します。みかんとゴリラと一緒に写った写真は、データにてご提供可能です。

②-2「奇跡のみかん」プレゼント

日時：2019年1月1日（火・元旦）～3日（木）10:00～

※各日先着50個限定 なくなり次第終了

場所：アフリカセンター

奇跡の理由

- ・モンキーセンターのゴリラは毎日、みかん類を食べています。はっさくや甘夏には種がたくさん含まれますが、一部は噛み潰されてしまいます。
- ・生き残った種はフンとともにゴリラの体内から出てきます。しかし、毎日の清掃によりほとんどが回収され処理されます。
- ・まれに生き残った種が発芽しても、除草されたり踏み潰されたりして、ほとんどが生き残りません。



“奇跡”の裏にある大切なこと

ゴリラのフンが森を育てる！

- ・野生のニシローランドゴリラはさまざまな果実を食べますが、多くの場合、果実の中の種もそのまま飲み込んでしまいます。飲み込まれた種は消化されず、フンと一緒に排出されます。
- ・ゴリラが移動してフンをすると、森のあちこちに種が捲かれます。また、フンから出てきた種は、通常の落下種子よりも発芽率が高くなるケースも知られています。こうして植物は子孫を増やしていきます。
- ・ゴリラに種を運んでもらうために、一部の植物はゴリラが好む果実をつけ、飲み込まれやすい種を作るよう進化してきました。
- ・これらの植物とゴリラの共生関係は、長い進化の中で育まれてきました。もしもゴリラが絶滅してしまったら…ゴリラを守ることは、森全体を守ることにもつながるのです。

資料③ サルおせち

飼育員たちが担当動物のために腕を振るった「おせち」をプレゼントします。
おせちの食材は豪華なフルーツや健康を祈願した食材などです。動物たちと一緒にお正月を祝いましょう！また年々腕を上げている、おせちのクオリティーにもご注目ください。
2019年は亥年ということで、ブタオザル（ブタのような細い尾をもつことから名前がつけられた）からスタートします！

日程：1月1日（火・祝）～1月6日（日）

時間：13:00～13:30

場所：1/1（火・祝） アジア館(ブタオザル)
1/2（水） Wao ランド(ワオキツネザル)
1/3（木） リスザルの島(ボリビアリスザル)
1/4（金） ヒヒの城(アヌビスヒヒ)
1/5（土） ビッググループ (フクロテナガザル)
1/6（日） アフリカセンター (チンパンジー、ニシローランドゴリラ)

2018年のサルおせちの様子

